

膵臓がんリスク オンライン判定

川崎医科大・吉田特任教授 サイト開設



吉田浩司
特任教授

川崎医科大(倉敷市松島)の吉田浩司特任教授は、オンラインで膵臓がんのリスクを調べ、相談にも応じる新たな取り組みを始めた。新型コロナウイルス

ウィルスの感染拡大で、がん検診の受診控えが顕在化する中、病気の早期発見につなげる。

利用者は、専用サイト
(<https://doctor-hoethnet/>)にアクセス。

相談も対応、早期発見へ

「最近2年以内に糖尿病を発症」「急性膵炎の経験がある」「胆石がある」など23項目の質問に答えると、膵臓がんリスクが「高い」「やや高め」「低い」で判断される仕組み。

「やや高め、高いが出た場合、診察を受けてほしい」と吉田特任教授。相談はサイトにある専用フォームからでき、専門医が回答する。サイト利用は無料だが、相談は1回300円。

ITを活用した膵臓がんの早期発見を目指し、数年前から開発をスタート。昨年12月から利用できるようにした。開発費は約200万円で、企業などからの寄付金を充てた。

吉田特任教授は「症状が出にくい膵臓がんの発見は遅れがち。まずは自身のリスクを知ってほしい」と話している。(石井聡)

すい臓がんリスク診断

あなたはすい臓がんのリスクが高いです。



IPMN(膵管内乳頭粘液性腫瘍)があると
言われている場合、膵臓がんになるリスク
は非常に高いです。必ず膵臓専門医に定
期的に通院し、検査を受けましょう。

判定は膵がん発症の発見を保証するものではありません。少しでも危険
性のある方は医師と相談してください。

医師に質問する

すい臓がんとは

膵臓がんのリスクを判定する専用サイトの
スマートフォン用画面